



学校だより

# わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№ 8

令和2年6月29日

## 5年生 出前授業「大黒屋光太夫」

6月26日(金)5限目、5年生が鈴鹿市文化財課の代田さん、大黒屋光太夫顕彰会の皆さんを迎えて、大黒屋光太夫の学習を行いました。代田さんから、光太夫のたどった軌跡や功績についてくわしく説明していただき、子どもたちも真剣に聞き入っていました。これから「光太夫太鼓」に取り組む5年生が、光太夫の思いや願いを「光太夫太鼓」の演奏につなげていきます。若松小学校の大先輩である小林会長から、「子どもたちの声が聞こえると元気をもらう。光太夫太鼓に一生懸命取り組むことはいい経験になる。みんなが楽しみにしているのでがんばってほしい。」というお言葉をいただきました。大黒屋光太夫顕彰会の皆さんには、太鼓の保全・修理をはじめ、いろいろなところでしっかり支えていただいています。また、計画的に和太鼓の寄贈もしていただき、子どもたちの活動が充実しています。



今年度は、小学校音楽会が中止となり、発表の機会がひとつなくなったのは残念ですが、光太夫太鼓の伝統は途切れさせるわけにはいきません。5年生の皆さん、伝統を受け継ぐ自覚と責任をもち、周りの方への感謝の気持ちを忘れず、全力でがんばってください。

## あいさつの大切さ

このところ、PTAの登校指導日誌をみると、「あいさつの声が小さい」「あいさつをしても返してくれない」という言葉がみられます。私も、北門から出た交差点に毎日立っていますが、昨年度と比べると、元気がないように思います。マスクをしているから、そう感じるのかもしれませんが、変わらずに気持ちのいいあいさつができる子もたくさんいます。元気な声が響くとパワーをもらいます。あいさつは何のためにするのでしょうか。漢字の意味を調べると、「自分の心を開く」という大切な意味があります。他人に対して尊敬や親愛の気持ちを表す動作、言葉などを意味するようになっています。

あいさつは、その人の姿勢であり、心構えの表れです。声に出してあいさつすると、相手との距離が近くなり、人間関係がよくなります。あいさつの大切さは知っているけれど、きちんとできている人は少ないかもしれません。毎日の習慣にしましょう。「相手の目を見て、自分から先に、声に出してあいさつすることを。」この行動を続けるだけで、きずながどんどん深まります。

# 若松小に設置されている防災設備



防災井戸

1日1回は動かしておかないと、いざというときに使えなくなるそうです。花壇の水やりや外トイレの掃除などに使用しています。地域の方もご使用ください。ただし、この水は飲めません。

高齢者や障がいのある方、観光客などが逃げ遅れた際の一時的な緊急避難施設で、3階と屋上あわせて1570人を収容できます。

津波警報発令の場合、児童をはじめ、地域住民は千代崎中へ避難することになっています。



避難所看板

以前は体育館横に建っていた防災倉庫に収納されていた防災用品を、3階第2図書室に平成30年に移動しました。(平地に設置してあると浸水の恐れがあるため)



防災倉庫



津波避難ビル



救助袋

3階6-1の廊下に設置されています。

## 2学期のおもな行事の実施について

新型コロナウイルス感染症が心配される中、子どもたちにとって思い出に残る行事を実施するため、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえた鈴鹿市の方針に沿って、本校では次のとおりとします。

### ◇運動会 9月26日(土)

- ・プログラムの内容や実施方法を変更して、午前のみで開催とする。
- ・土曜授業の扱いとし、代休日を設けない。
- ・保護者の密集、密接を避ける。(テント、パラソル等を設置しないようにする。)

### ◇修学旅行 10月20日(火)~21日(水)

- ・旅行先を三重県内とする。
- ・手洗い、消毒等の定期的な実施、健康チェックを行い、余裕をもたせた体制、方法を確保する。

### ◇社会見学(3、4、5年)

- ・修学旅行に準じて三重県内とする。

### ◇6年生キャンプ 11月9日(月)

- ・宿泊、飯盒炊飯を行わない。デーキャンプとして実施する。

※なお、行事の詳細については、追って連絡します。今年度は新型コロナウイルス感染症対策による内容・方法の変更であり、来年度については再検討となります。

※今後の感染状況の変化等により、中止・変更もあり得ることをご理解ください。